American DJ®

Virtual Beam VR8

日本語取扱説明書





株式会社サウンドハウス
Professional Sound Equipment Specialist
〒286-0044 千葉県成田市不動ケ岡 1958
TEL:0476-22-9333 FAX:0476-22-9334

■使用上の注意

・本体に水をかけないで下さい。
・正しい電圧を確認して下さい。
・すり減っていたり切れている電源コードは使用しないで下さい。
・足で踏まないように配線して下さい。
・アース線の切除や切断は避けて下さい。アース線は電気ショックや発火の原因となる内部のショートを防ぐ為にあります。
・いかなる接続を行う場合にも必ず電源を抜いて下さい。
・トップカバーを開けないで下さい。
・ディマーパックへの接続は避けて下さい。
・適度に換気のできる場所に設置して下さい。機材と壁・天井の間には 15cm ほど余裕を見て設置して下さい。
・支障が見られたら本体の使用を止めて下さい。
・本体のカバーが取り外されている状態での使用は止めて下さい。
・電気ショックや発火を防止するため雨や蒸気にさらさないで下さい。
・本体は屋内使用専用です。屋外使用での故障は保証されません。
・長期間使用しない場合にはコンセント電源から抜いて下さい。
かならず安全で安定した場所に設置して下さい。

■Virtual Beam/VR8 の特徴

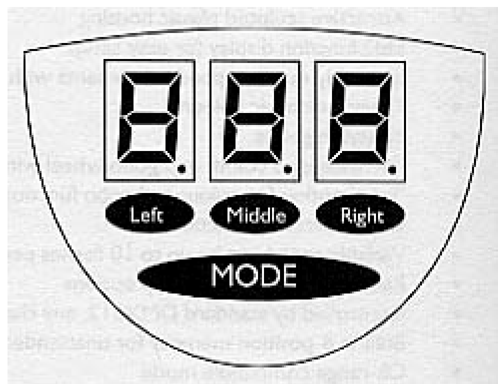
・魅力的なボディーデザイン
・LED 表示で容易な設定手順
・自動スピードセンサーでスムーズな動き
・鮮やかな 12 種類のダイクロイック・カラー
・スタイリッシュな 12 種類のゴボ
・スムーズなクロスフェイダーによるマイクロステップ・カラー/ゴボ
・スナップ・オプションのカラー/ゴボ機能
・カラー・スクロール機能
・毎秒 10 フラッシュまで変速可能なスピードストロボ
・パン/チルト/スワップ・オプション
・標準 DMX512 コントローラー対応
・コントローラーなしでも 8 種類のアクション
・CE レンジ・コンパチ・モード
・DMX 信号の不在時のスタンド・アローン・モードへの自動切替
・洗練された 4 チャンネル・オート・ライトショー（コントローラー不要、アブストラクト CE レンジ商品と互換性あり）
・VR8-パワフルな 150W ディスチャージランプ（寿命約 6000 時間）
・VR4-250W ハロゲンランプ使用
・リセット可能なランプタイマー（ユニット使用時間タイマーはリセットできません）
・セルフ・テストとモーター・リセット機能搭載
・DMX インターフェイス・プロテクション
・間違った設定変更を防ぐ為のロック機能

■接続方法とユニット・コントロールについて

Virtual Beam/VR8（以下 VR8）の接続用パネルは本体裏側の下部にあります。

DMX 接続には 3 芯 XLR 端子を使用します。3 芯がコールド、2 芯がホット、1 芯がアースです。5 芯出力端子の DMX コントローラーを使用する場合には 2 芯と 3 芯が入れ替わった 3 芯アダプターをご使用下さい。

DMX 接続には XLR 端子を使用して下さい。複数のユニットを連結した中の最後にあたるユニットの使用していない端子にはプラグを使用して下さい。



VR8 のコントロール・パネルは 3 桁のディスプレイと 4 つのボタンにより、操作が容易になっています。VR8 の全てのコントロールをこのディスプレイ・パネルで行います。

設定するモードを MODE ボタンで選択します。MODE ボタンを 3 秒間押し続けることでモードを変更します。その他の 3 つの小さいボタンでモードの設定（ON/OFF 等）を変更します。ボタンの機能は設定されたオプションにより変化します。DBL モード（ディスプレイ・ブランク・モード）を ON にすると、ある程度の時間が経つと LED が消える設定も出来ます。

MODE ボタンを押し続けることでボタンのロックが可能です。ロックを解除するには MODE ボタンをもう一度押し続けて下さい。

コントロール・インジケーター

ディスプレイ上の小さな「点」で本体をコントロールしている設定が確認できます。右側の点が点灯している時には、DMX 信号を受信していることを示します。左側の点は、他の連結ユニットからライトショー信号を受信している状態です。真中の点が点滅しているときはユニットがサウンド・トリガーによって作動しています。

■電源を入れる

電源を接続するとディスプレイに「- - -」、その次に「Abstract VR」が表示され横スクロールします。初期化が完了するまでの約 10 秒間「INL」が表示されます。モーターの動作を自動チェックする段階でノイズが発生します。

VR8 ランプが最も明るい状態に達するまでに約 60 秒程かかります。一定時間コントロール指示がなければ VR8 のランプは消え、ランプ寿命をセーブします。

VR8 の電源を切った後、再度使用する場合にはランプが冷めるまで 15 分程放置して下さい。ディスチャージランプは熱を持っている間は点灯しません（これは VR4 には対応しません）。

■VR8 の設置位置について

VR8 は様々な設置方法に対応可能ですがアルクストリーム・ランプは上向きに設置されるようにデザインされていますのでミラーが本体の上に来るように設置して下さい。ランプは下向きになると黄色をおびた光を発します。

VR4 用のハロゲンランプはいかなる方向の設置にも対応します。

■メンテナンス

VR には使用時間タイマーがついていて、メンテナンスの必要な時期が判断できるようになっています。冷却ファンの効率に影響を及ぼしますので、通気グリルにほこりなどがたまっていないことを確認して下さい。

ランプを交換する際には本体の電源ケーブルを抜き DMX 接続を取り除いて下さい。裏側の端にある 2 つの 6 角ネジを外しディスプレイがある方のカバーを取り除いて下さい。内部の金属パネルにある円形のプレートから 2 つのネジを外すとランプを取り外すことができます。VR8 にはリフレクターのランプを整列させるためにさらに 3 つのネジがあります。ランプを交換する時にこのネジを調節して下さい。

本体パーツを分解することは避けて下さい。

■VR の使用方法

VR には 3 種類操作方法があります。

1. DMX コントローラー・モード

   Abstract CE コントローラーや標準型 DMX ライティング・デスクで操作できます。このモードはライブ・パフォーマンスに最適です。エフェクトを自由自在に操る際にも効果的です。

2. ライトショー・モード

   音楽に合わせて作動することで、素早い動きを含む印象的なショーを演出することが出来ます。これはプログラムする時間や操作の手間をセーブするのにも便利です。複数のユニットや、CE レンジ対応の商品を接続する場合には、ユニットを連結してシンクロしたライト・ショーを演出します。

3. ラン・モード

   最高 8 つまでのポジション・プログラム可能で、自動的にプログラムされた動きをします。このモードは外部機材なしで作動します。

■DMX コントロール・モード

DMX コントローラーはデジタル・コントロール・システムです。各ユニットは選択された 4 チャンネルに対応します。ディスプレイ画面でユニットがどのチャンネルに対応しているかが確認出来ます。

DMX コントローラー使用時のユニット接続方法

ユニットの接続には標準 XLR マイクケーブルを使用し、輪になるように接続して下さい。コントローラーからの出力を 1 台目の入力に接続し、その 1 台目のユニットの出力から次のユニットに接続し、この手順を繰り返して下さい。

連結された中の最後のユニットの出力端子にはプラグをして下さい（2 芯と 3 芯の間に 220Ωのプラ

グをし、接続上のデータ不良などを防ぎます)。
各ユニットを独立してコントロールする場合には DMX チャンネルをそれぞれ異なる DMX値に設定した下さい。

■VR の操作方法

VR が使用する 4 つの DMX チャンネルは以下の通りです。

1. ミラー・パン（左右の動き）
2. ミラー・チルト（上下の動き）
3. カラー選択
4. ゴボ/ストロボ選択

パンとチルトの動きをリバースできるオプションや、パンとチルトをスワップ（交換）できるオプションもあります。

パン/チルト

ミラー・パン/チルトのスピードはコントローラーへのオート・スピードセンサーに比例し、コントローラーを速く動かせばミラーも速く動きます。　コントローラーをゆっくり動かすとミラーがゆっくりと動きます。

カラー

カラー機能もパン/チルトと同様にオートスピードセンサーに比例します。隣接するカラーの移動をスムーズに行うことが出来ます。フル・カラーを得るためには正確な DMX 値を送信する必要があります。フェイダー・コントローラーを用いて 1 番近いカラーとのハーフ・カラーも可能です。フェイダーを使った操作は、カラー・スナップ・モードでは対応しません。
フェーダーを上げると継続してカラーが変化します。

ゴボ

デフォルトでは 1 番近いゴボに素早く変化します。コントローラーをゆっくり動かしてもゆっくりとした移行はしません。ゴボ・スナップ・モードを OFF にすればスムーズなゴボ・スクロールが可能です。ゴボを正しく設定する為に正確な DMX 値を確認して下さい。コントローラーを約 90%まで上げると、「ストロボ・ゾーン」になります。その 90%の位置では 1 秒間に約 1 回のゆったりとしたストロボとなり、最大まで上げた 100%の状態では 1 秒間に約 10 回のペースでフラッシュします。ゼロの位置（コントローラーを 1 番下まで下げた状態）では「ブラック・アウト」しライトが消えます。

VR コントロール DMX 値

DMX 値の一覧表はマニュアルの最後にあります。CE コントローラーや CE レンジ・ヘッドで操作する場合には後述の「Abstract CE 機材での使用方法」をご覧下さい。

■ライト・ショウ・モード

Abstract 商品には洗練されたライト・ショー機能を搭載し、Abstract 商品にはすべて互換性があります。ユニットを連結することで、シンクロした素晴らしいライト・ショーを演出することが可能です。
VR レンジには 4 種類のライト・ショー・グループがあります。各ヘッドは 4 種類のうちのいずれかのライト・ショー・グループに対応可能で、これにより極めて多様なライト・ショーを演出できます。

ライト・ショーのための接続方法

複数のユニットを使用する場合にはXLRマイクケーブルで接続します。接続の順番には指定はありません。DMXコントローラー接続した時点で、自動的に「DMXコントローラー・モード」になります。

ライト・ショー

DMX信号なしでLSE(ライト・ショー・モード)の場合、ユニットは音に反応し自動的にライト・ショーを開始します。複数のユニットが接続されている場合は DMX アドレスの 1 番低いユニットが「コントローラー」となりその他が「スレーブ」になります。

4 台のユニットを使用する場合は、それぞれのユニットを 4 つのライト・ショー・グループいずれかに設定して下さい。このライト・ショー・グループはLSGライト・ショー・グループ（後述）で変更可能です。ユニットを接続する順序によってライト・ショーの結果が変化します。

特定のユニット 1 台をライト・ショーの「コントローラー」として利用する場合には、そのユニットのLSE ライト・ショー決定モードをON にし、その他のユニットはOFF にして下さい。

VR 内蔵のマイクは自動ボリューム・コントロールがあり、幅広い音量に対応します。低音域に対して最も敏感で特に音楽の「リズム」に反応します。ボリュームの小さな音や高音域の音には反応しない場合があります。

ライト・ショー・モード

「コントローラー・ユニット」用のモードにはスロー・モード、ストロボ・モード、サウンド・モードがあり、ライト・ショーに影響を与えます。カラー/ゴボ・スナップ機能も同様にライト・ショーに影響を与えます。

VR ユニットと CE レンジ・ユニットによるライト・ショー

VR ユニットと CE レンジ・ユニットをライト・ショー・モードで使用する場合は、DMX 接続の中で VR ユニットが 1 番初めに来るように設定して下さい。CE レンジのユニットはディップ・スイッチの ON/OFF によりグループ 1 とグループ 2 のみにしか設定されません。

CE レンジ・ヘッドを「コントローラー・ユニット」として使用する場合は、グループ 3 とグループ 4 に設定された VR ユニットは作動しません。VR ユニットが CE ライト・ショー信号を受信すると自動的に感知し、適切な信号として対応するので CE モードを変更する必要はありません。

ライト・ショー・モードを CE コントローラー・ユニットに使用する場合には「Abstract CE 機材での使用方法」を参照して下さい。

他メーカーのユニット

ライト・ショー・モードではノン・スタンダード信号を送信するため他メーカーのユニットを接続すると不正な反応をするかまったく作動しない場合があります。

■ラン・モード

VR にはメモリーが内蔵されていて 8 つのポジション、カラーとゴボを保存可能で、操作なしでもプログラムされた一連の動きを繰り返すことができます。

ラン・モードの接続方法

ラン・モードでは電源を入れた時に DMX 信号の送受信は行われません。

ラン・モードの使用方法

ラン・モードはモード・メニューから開始します。ラン・モードの状態で電源を切ると、再度電源を入れた時もラン・モードの状態でスタートします。

■Abstract CE 機材での使用方法

VR ユニットは Abstract CE レンジ・ユニットとは異なる DMX コントロール値を使用します。これは CE レンジにはない特徴を VR レンジにて再現する為です。VR ユニットを CE レンジ・ユニットと一緒にスタンド・アローン・モードで使用する場合には、モードを変更する必要はありません。VR ユニットは自動的に CE レンジ信号に対応します。

しかし、マニュアルでコントロールする場合には VR ユニットが CE レンジユニットのように作動する為のオプションがあります。CE コントローラーで操作する場合や CE レンジ・ユニットと VR レンジ・ユニットを同時に使用する場合に便利です。VR ユニットを CE ユニットと同様に作動させるには GSN(ゴボ・スナップ・モード)を ON にし、CE モードも ON にして下さい。（CE コントローラーのライト・ショー・モードを使用する場合にはゴボ・スナップ・モードの設定のみが重要となります。）

■トラブル・シューティング

使用時によくある疑問点を解説付きでリスト・アップしましたので参照して下さい。

VR から光が出ない

1. 電源 LED（赤）が点灯しファンが回っていることを確認して下さい。もしどちらも起動していない場合には電源が供給されていません。IEC ソケットがしっかりとプラグに接続していることを確認して下さい。同時にバックパネルのヒューズも確認して下さい。
2. ランプが点灯しているか確認して下さい。ファンの隙間等からライトの光が確認できるはずですが、電源が供給されていてランプが点灯しない場合はランプの交換が必要な場合があります。また VR8 の電源を切ってすぐに再度電源を入れてもランプが冷めるまで点灯しません。VR4 ではコントロール・チャンネルをすべてゼロの位置に設定するとランプは消えます。
3. ランプがついている場合には VR8 がブラックアウト・モードに設定されていないことを確認して下さい。コントローラーを使用している場合には設定を変更してみて下さい。スタンド・アローン・モードの場合に、マイクを軽くたたいてみて下さい。

DMX コントローラーに反応しない

1. ディスプレイ上の DMX インジケーター（右側の小さい点）が点灯していることを確認して下さい。点灯していない場合にはケーブルが正しく接続されているか確認して下さい。(VR ユニットは 2 芯がホットですが、3 芯がホットのコントローラーもありますのでご注意下さい)。
2. DMX インジケーターが点灯している場合は VR ユニットは確実に DMX 信号を受信していますが、設定してあると思われるチャンネルに正しく反応していない場合があります。VR ユニット側に設定されたチャンネルとコントロール側の設定が対応していることを確認して下さい。DMX 信号が反対に接続され DMX インジケーターが点灯してしまう場合がありますので、DMX コントローラーの 2 芯と 3 芯が正しい方向になっていることを確認して下さい。その場合には違うコントローラーやスキャナーを使用して原因を追求して下さい。
3. これらを全て確認してそれでも DMX コントローラーで作動しない場合には、ケーブル周りを確認して下さい。高電圧、ネオン等の近くでは問題が生じる可能性もあります。

   VR ユニットには DMX 信号入力端子に保護回路があり、高電圧や電波障害を感知すると一時的

に信号を止める場合があります。その場合にはコントローラーとユニットを短いケーブルで直接つなぎ、再度確認して下さい。

カラー/ゴボがコントローラーでの操作や他のユニットと違う動きをする

CE モードの設定を確認して下さい。このモードが ON の場合、VR は異なるコントロール信号に対応しています。

ミラーが不正な動きをする/カラーやゴボが一部だけ表示される

ミラー・インバート・モード、カラー/ゴボ・モードを確認して下さい。ユニットが不思議な動きを見せる場合には、モード設定が偶然変更されているかも知れません。OPC モードを選択し真中のボタンを押しつづけ全てのオプションをリセットしてみて下さい。

ディスプレイに「---」や「LIN ERR」しか表示されない

電源を一度 OFF にしてから再度 ON にして下さい。このディスプレイ表示はなんらかの原因で正常に電源が入っていないことを示しています。電波障害などが原因である場合があります。

ディスプレイ上にこれら以外のコードが表示されたり、又は何も表示されない場合にはディスプレイ自体に問題がある場合があります。

■フィーチャー・モードの設定

MODE ボタンを３秒間「押し続ける」とセットアップ・モードになります（「押し続ける」機能は誤作動を防ぐ為のものです。「軽く押す」ことと区別して下さい)。セットアップ・モード中に MODE ボタンを軽く押すとパンやチルトなどのオプションを順番に選択します。セットアップ・モード中に Mode ボタンを押し続けると元の状態に戻ります。

約３分間ボタンを押さないとセットアップ・モードはブランク・オプションに切替りディスプレイ表示が一時的に消えます。いずれかのボタンを押すことでディスプレイが再度表示されますが、ディスプレイが消えている状態に押されたボタンは設定に影響を及ぼしません。

ボタンのロック機能

VR の設定ボタンが誤って押されることを防ぐ為に、ボタンをロックすることができます。電源を入れる際に MODE ボタンを押し続けると「LOC」がディスプレイに表示されロックかかります。この状態でボタンを押しても設定は設定されません。

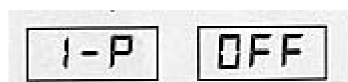
ロックを解除するまでこの機能は有効で、再度電源を入れる際に MODE ボタンを押しつづけるとロックが解除され、「UNL」がディスプレイに表示されます。

DMX チャンネル設定



MODE ボタンを押し続けるとディスプレイに「CHA」「001」が交互に表示されます。左ボタンで 100 の位を、真中のボタンで 10 の位を、右ボタンで１の位の DMX チャンネルを設定します。ここで設定された DMX チャンネルは MODE ボタンを押し続けると決定されます。この表示が交互に変化している間 MODE ボタンを軽く押すと「ミラー・パン・モード」になりさらに MODE ボタンを押すと次のモードへと順番に移ります。

ミラー・パン・インバート・モード



このミラー・パン・インバートを ON にするとミラーの左右の動き（パン）が逆（インバート）になります。

ミラー・チルト・インバート・モード



ミラーの上下の動き（チルト）が逆になります。

ミラー・パン/チルト・スワップ・モード



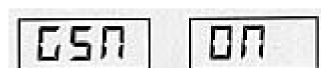
ミラーの左右と上下の動きが入れ替わります。つまりチャンネル１でチルトを、チャンネル２でパンをコントロールします。

カラー・スナップ・モード



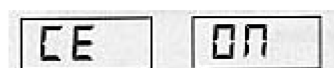
ハーフ・カラー機能の ON/OFF を切り替えます。ON の状態ではカラーが半分づつになり、OFF の状態ではカラーがフリーポジションになります。またクロスフェーダーでカラーの配分調整が出来ます。

ゴボ・スナップ・モード



ON にするとゴボがフルの状態になります。OFF ではゴボがフリーポジションになりクロスフェーダーでゴボの配分調整が出来ます。

CE 互換モード



OFF の状態で VR ユニットは通常の機能通りに作動します。ON にすると CE レンジ・ユニットとして作動します。CE 互換モードではいくつかの VR ユニット機能には対応しませんが CE コントローラーでの操作は可能です。CE レンジとのより優れた互換性を得るためにはゴボ・スナップ・モードを ON にして下さい。

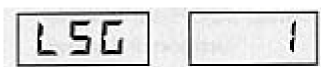
ディスプレイ・ブランク・モード



この機能が ON の状態で約 30 秒間ボタン操作が行われないと、ディスプレイ表示が自動的に消えます（DMX インジケーターとライト・ショウ・インジケーターは点灯したままです）。この機能が OFF の時はディスプレイに DMX 値が表示され続けます（ライト・ショウ・モードではその時点でのライト・ショウ・グループが表示されます）。VR 本体の設定状況が変化するとディスプレイ表示が消えていても再点灯します。

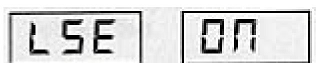
■ライト・ショウ・モードの設定

ライト・ショウ・グループ



VR には複雑なオート・ライト・ショウ機能があり、ライトの動作を 4 つのグループに分けて設定することが可能です。右ボタンでライト・ショウ・グループを選択して下さい。

ライト・ショウ決定モード



この機能が ON の状態で、DMX 信号が受信されない場合、ライト・ショウをスタートします（ライト・ショウ・モードでは最も低い DMX 値のユニットが「コントローラー」として働き、その他のユニットは自動的に「スレーブ」として作動します)。この機能が OFF の状態では最後に送られた DMX 信号をもとに作動します。1 台のユニットにライト・ショウをコントロールさせる場合には、他のユニットの LSE を OFF に設定して下さい。

スロー・モード



この機能が ON の状態でライト・ショウがスロー・スキャン・モードで作動し、ゆっくりとした動きます。ライト・ショウ・モードに設定されている場合、この機能は「コントローラー」ユニットのみに働きます。DMX コントローラーで操作されている場合とライト・ショウで「スレーブ」に設定されている場合は、スロー・モードには対応しません。

ストロボ・モード



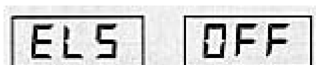
この機能が ON の時は、ライト・ショウ・モードでストロボ機能を使用することができます。OFF にするとストロボ機能は無効になります。（スロー・モードが ON の時には、ストロボ・モードは使用できません)。DMX でコントローラーで操作されている場合とライト・ショウ「スレーブ」に設定されている場合は、ストロボ・モードに対応しません。

サウンド・モード



この機能が ON の時、ライト・ショウは音に反応して作動し、OFF の時にはタイマーによって作動します。このオプションはライト・ショウ・モードでの「コントローラー」ユニットにのみ有効です。VR ユニットのデモンストレーション利用時に便利な機能であり、スロー・モードと一緒に使えば、ゆったりとしたムード溢れるライト・ショウとしても活躍します（カラー・スナップ・モードとゴボ・スナップ・モードを OFF にするとより効果的です)。

エンハンス・ライト・ショウ・モード



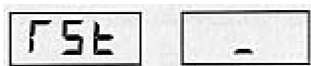
このモードが OFF の時、ユニットはライト・ショウのパターンを規制します。2 台で設定の時に、

両方が同時に消えブラック・アウト状態になるのを防ぐ便利な機能です。3台以上でのセッティングでは、このエンハンス・ライト・ショウ・モードを ON にすることで、よりダイナミックなライト・ショウを再現します。ライト・ショウ・モードでは「コントローラー」ユニットにのみ効果があります。

■コントロール機能の使い方

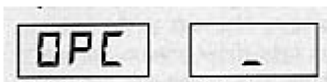
コントロール機能で、VR 本体内蔵のリセット機能、テスト機能を開始します。

VR ソフト・リセット



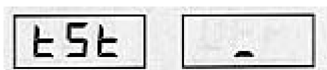
真中のボタンを 3 秒間押すと VR をリセットし、モーターの位置を再度初期化します。この間、ディスプレイには「INL」が表示されます。

オプション・クリアー



真中のボタンを 3 秒間押すと全てのモードをデフォルトの状態に戻します。このリセットを行っている間、ディスプレイには「EEI」が表示されます。ここでのリセットはタイマーとオペレーション・カウンターの設定には影響しません。

ファンクション・テスト・モード



真中のボタンを押すとテスト機能を開始し、モーターが正常に作動するかテストします。しかし、ユニットの動きが正常かどうかはご自身の目で確認して下さい。

テスト時のユニットの動きは以下の通りです。

早いパン→ゆっくりのパン→早いチルト→ゆっくりのパン→カラー→ゴボ

正常であればフル・カラー/フル・ゴボとして作動します。

テスト終了後、いずれかのボタンを押すまで、ユニットのビームがセンターの状態で静止するので、センター位置の修正をするのに便利です。

■ラン・モード

VR は８つの連続したポジショニングをプログラムすることが可能で、コントローラー無しでも作動します。この機能はデモンストレーションなどに最適です。

ラン・モードでは、ポジションをプログラムしている時以外は DMX 信号に反応しません。

ラン・モード・メニュー



この画面で真中のボタンを押すとラン・モードになります。

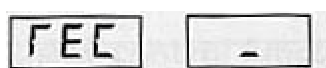
以下のサブ・メニューが表示され、MODE ボタンを押すと順番にモードが変化し、いずれかの小さいボタンを押すことで表示されているモードの ON/OFF やスピードなどを選択します。

プレイ



真中のボタンを押すとプレイバック・モードが開始します。設定スピードでプログラムされたポジションがプレイバックされ、ポジションがプログラムされていない場合は、このコマンドは無視されます。
プレイバック・モードではディスプレイに「RUN」が表示されます。いずれかのボタンを押すとプレイバックが終了します。
その他のポジション（インバート、スナップ、CE モード）はプレイバック・モードで反映されますので、プレイ・バック・モードを開始する前にモードが正しく設定されているか確認して下さい。
ラン・モードの状態で電源を切ると、再度電源を入れた時もラン・モードでスタートします。オプション・クリアーでリセットするまで、プログラムされた順番は保存されます。

レコード



真中のボタンを押すとレコード・モードになります。ここで８つのポジションをプログラムします。



この状態でポジション１のプログラム準備 OK です。
ポジションのプログラムには DMX コントローラーか、本体のボタンを使用します。
真中のボタンを押しつづけることでその時点で映写されている DMX ポジションがモード上に残り「SET」が表示されます。



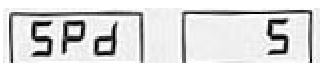
この状態で DMX コントローラーを用いてポジションの設定が可能です。どのボタンを押してもポジションをプログラムすることができます。
ポジション（パン、チルト、カラー、ゴボ）を設定するには真中のボタンを軽く押して（数秒間押しつづける方法と区別して下さい）選択します。



上の 4 つのポジションが順番に表示され、左か右のボタンを押してパン、チルト、カラー、ゴボを設定します。この時にゴボ・スナップかカラー・スナップが ON になっている場合は DMX 値を変更すると素早く切り替わり OFF であればゆっくりとスクロールします｡全ての設定が終了し MODE ボタンを押しつづけると元の画面に戻ります。

すでにプログラムされているステップをこの方法でも変更することができます。次のステップに進む場合には､MODE ボタンを軽く押して下さい｡８つのポジションを全て使用しない時には､MODE ボタンを軽く押すことでプログラムしないまま次のステップへスキップして下さい。メニュー画面に戻るには、この手順を繰り返すか MODE ボタンを押しつづけて下さい。

スピード



左と右のボタンでプレイバックのスピードを０から９の間で設定して下さい（これは各ステップが表示される時間です)。

フェイド・モード



フェイド・モードではステップ間をよりスムーズに移動します。いずれかの小さいボタンを押して ON と OFF を切り替えて下さい。

プログラム・クリアー



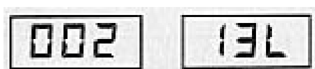
真中のボタンを押してすでにプログラムされているポジションをリセットします。

■ランプ・タイマー/ユニット・タイマー/オペレーション・カウンター

VR のディスプレイには３種類のパフォーマンス・インジケーターがあり、本体の使用時間が確認できます。メンテナンスやランプ交換時期の目安としてご利用下さい。

これらの機能は通常のオペレーション・モード（セット・アップ・モード以外）で作動します。タイマーが表示されている間にいずれかのボタンを押すと、ディスプレイ表示が元に戻ります。

ランプ・タイマー



左側のボタンを押すとランプ・タイマーが表示されます。本体の使用時間が５桁で表示されます（0〜99999 時間)。ディスプレイ上には 3 桁ずつ表示され、「頭 3 桁」と残りの「2 桁＋L(Lamp の L)」が交互に表示されます。

これは使用時間が「00213 時間」であることを表します。

ランプタイマーのリセットは電源を入れる際に左右のボタンを押し続けて下さい。「RST」(リセット)がディスプレイに表示されます。ランプを新しいものと交換した時にリセットするとランプの寿命を確認できメンテナンスに最適です。

ユニット使用時間



真中のボタンを押すことで本体の使用時間を表示します。本体が製造されてからの使用時間が５桁で表示されます（0〜99999 時間)。ディスプレイ上には 3 桁ずつ表示され、「頭 3 桁」と残りの「2 桁＋H(Hour の H)」が交互に表示されます。

このユニット・タイマーはリセットできません。

オペレーション・カウンター



右ボタンを押すとオペレーション・カウンターが表示され、本体の電源が何回入れられたかを表します。本体の使用量が確認出来ます。

このカウンターはリセットできません。

■オプション・リスト

VR のオプションリストです。表示される順番でリストされています。

display	default	option name
CHA	001	Set DMX channel
1-P	OFF	Pan invert
1-t	OFF	Tilt invert
P-t	OFF	Pan-tilt swap
CSn	OFF	Colour snap to half positions
GSn	on	Gobo snap to full positions
CE	on	CE compatibility mode
dbL	OFF	Display blanking mode
LSG	1	Light show group number
LSE	on	Light show enable
SLO	OFF	Light show slow mode
Str	on	Light show strobe enable
SOU	on	Light show sound enable
ELS	OFF	Enhanced light show
rSt	_	Soft-reset (reinitialise motors)
OPC	_	Option Clear (reset options to defaults)
tSt	_	Self test mode
run	_	Run mode options

■DMX 値リスト

Mirror Pan - Channel 1

DMX	Result
0	Left
128	Central
255	Right

Mirror Tilt - Channel 2

DMX	Result
0	Top
128	Central
255	Bottom

Colour - Channel 3

Colour	DMX (VR mode)	DMX (CE mode)
White	0	10
Red	16	26
Blue	32	43
Green	48	59
Yellow	64	75
Cyan	80	91
Orange	96	108
Magenta	112	124
Neon Green	128	140
Pink	144	156
UV Blue	160	173
Aqua	176	189
Slow colour scroll	242	246
Colour scroll 2	248	254
Colour scroll 3	250	-
Fast colour scroll	254	-

Gobo - Channel 4

Gobo	DMX (VR mode)	DMX (CE mode)
Blackout	0	0
Open	16	24
Laser	32	40
Star	48	56
Slice	64	72
Tunnel	80	88
Heart	96	104
Eurostars	112	120
Sunburst	128	136
Triangle	144	152
Slash	160	168
Bubbles	176	184
Segment	192	200
Slowest strobe	242	226
Strobe 2	244	230
Strobe 3	246	234
Strobe 4	248	238
Strobe 5	250	242
Strobe 6	252	246
Fastest strobe	254	254